83

[編者] 佐藤 五味 文彦 [著作者]

詳説日本史

日探705 B5変型判(230mm×174mm) 398ページ 予価914円

東京大学名誉教授 高埜 利彦 学習院大学名誉教授 東京大学名誉教授 給木 東京大学教授

老川 慶喜 立教大学名誉教授 村 诱 東京大学教授 雅博 東京大学名誉教授 康俊 九州大学名誉教授 英治 東京大学教授 典幸 東京大学教授 晃伸 立教大学教授 成征 東京大学教授 暁子 東京大学教授 三谷 芳幸 筑波大学教授

和明 東京大学准教授 山口 輝臣 東京大学教授

文彦 お茶の水女子大学准教授 吉田 伸之 東京大学名誉教授 渡邊 宏明 海城中学高等学校教諭 博己 東京大学名誉教授 會田 康範 学習院高等科教諭

> 太田尾智之 東京都立国立高等学校教諭 健 東京都立小石川中等教育学校教諭 雅秀 東京大学教育学部附属中等教育学校 教諭

株式会社 山川出版社

(2025年3月現在)

#### message

図版(写真)

文字資料

●グラフ・図表 147点

● 2 次元コード 23点

地図

363点

46点



82

高埜利彦 (たかのとしひこ) 学習院大学名誉教授

(グラフ45+系図18+

図50+表34)

「日進月歩」とまでは申しませんが、歴史学や考古学など の研究者の日々の取組によって、日本の歴史像は描き直され てきました。132年の伝統のある学会誌『史学雑誌』の回顧 と展望に見るように、膨大な数の研究論文が毎年発表されて います。この不断の学問の営みの中から、新しい歴史像が学 会の共有財産として認識され、やがて定着するようになると、 それが教科書に反映されて、今回のような大きな改訂の機会 に、書き直されることになります。

日本の歴史像は、多数の出版社によって書籍などのかたち で社会に伝えられていきます。歴史学は社会と結びつきやす い特色をもっていますが、それは中学・高校生の時に日本史 を広く学んだ人たちが、その後も関心を持続していくからだ と思います。

高校の教室で生徒たちに日本史の授業を担当する先生方の 役割は、歴史学に裏付けられた共通の日本史像を、教科書を 通して次の世代に認識してもらうところにあります。教科書の 改訂は、現場の先生方に負担を掛けることになります。かつて、 教育現場に週1日の研修日があり、教材研究などに余裕の時 間をもてた頃とは異なり、現在の厳しい環境の中で教材研究 に時間を割くことは容易ではないと思いますが、是非、新しく なった『詳説日本史』を活用していただければと考えます。

歴史学という基礎の学問から始まり、次世代の歴史認識を 形成する高校の現場まで、一貫した流れの最後をしめくくる、 高校の先生方に大いなる期待をしています。



鈴木淳 (すずきじゅん) 東京大学教授

新型コロナウイルス感染症の流行にともなう予期せぬ社会 の変動によって、人々の暮らしが大きく左右されました。そ してそれへの対応は、国や自治体に頼るだけではなく、自ら の責任で考えなくてはならないことが痛感されました。産業 の国際競争力も一時の勢いを失い、実業界でも若手に対して、 指示を待つだけではなく自ら考える力を強く期待する時代を 迎えています。

そのような中で、新たに登場した「日本史探究」という科目 では、歴史について、調べ、まとめ、考察し、さらによりよい 社会の実現を視野に課題を探究することなどの主体的な活動 を通じて、自分で根拠を確認した情報に基づいて自ら考える 力を養うことが求められています。それは、考える力を養うと ともに、先人たちが犠牲をはらいながら積み重ねてきた貴重 な経験を現代の社会に生かす学習であり、それを通じて、改 めて歴史を学ぶ意味の大きさを理解することも期待されます。

この教科書は『詳説日本史』の長年の蓄積を生かしながら、 「日本史探究」の目標を達成しようとするものです。各時代 の特質を理解するのにふさわしい厳選した史資料を取り上げ た「歴史資料と○○の展望」、あるいは、本文横や章末の数 多くの問いにより、様々なかたちで探究の入り口や手がかり を示すとともに、本文は問題意識をもっての学習に対応でき る丁寧な叙述となっています。この教科書で、知識を身に付 けるだけではなく、歴史に学んで考える力を身に付けてもら いたいと思います。

### 詳しい内容と豊富な史資料

### 信頼の教科書

### 各時代・各分野をバランスよく記述、 充実した内容

- ●本文を重視し、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・現代」の各時代、政治・外交・経済・文化 などの各分野について、網羅的にバランスよく記述しました。
- ●歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように、論理的な記述を心掛けました。 充実した内容で、思考力・判断力・表現力を働かせるための基礎知識を獲得できます。

### 探究活動に取り組みやすい大きな図版、 豊富な史資料

- ●考察を深め、歴史を探究するための史資料を数多く掲載しました。また、教科書の判型を大きく し(A5判→B5変型判)、写真・図版を大きく・見やすく掲載しました。
- 歴史叙述の基礎となる文字資料のほか、当時の様子を推測するための図版・写真や、数値から時 代背景を考察できる統計資料などを豊富に取り入れています。
- 「歴史資料と○○の展望」では、多様な史資料を取り上げ、生徒が多角的に考察できるよう、工夫 しています。

# 時代の特色をつかむ多様な問いかけ

- ●各章の冒頭では導入文と合わせて、その章の学習上の視点となる問いかけを提示し、各章の章末 では「まとめ」の問いを設けてその章の学習を振り返り、考察できるようにしています。
- ●本文を読む際の着眼点となるように、また様々な角度から歴史を捉えられるように、随所に問い (Q)を設けました。また、史資料に関連した「読みといてみよう」では、解釈・説明・論述をう ながす問いかけをしています。

#### 関連教材

#### 教師用指導書「授業実践編|

**→**p.130

#### デジタル

教師用指導書「授業実践編」 付属データ集

**→**p.131

教師用指導書「研究編」

**→**p.131

### 準拠ノート

詳説日本史ノート

B5判 定価1,100円(税込) 詳説日本史 授業用整理ノート B5判 定価 946円(税込)

#### 補助教材

山川 詳説日本史図録 第10版 AB判 定価 990円(税込) 詳説日本史10分間テスト 定価 770円(税込) 詳説日本史スタンダードテスト 定価 825円(税込) 書きこみ教科書 詳説日本史 A5判 定価1,100円(税込) 日本史総合テスト B5判 定価1,100円(税込)

指導者用デジタル教科書(教材) →p.134

# 改訂のポイント

### 目次と配当時間例



【凡例】

- 1. 年代は西暦を主とし、日本の年号は ( ) の中に入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、年月はすべて日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。たとえば天正14年12月1日は、西暦では1587年1月9日であるが、1586(天正14)年12月とした。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば慶応4年は9月8日に改元して明治元年となったが、この年のことはすべて1868(明治元)年とした。
- 史料引用はできるだけ必要な部分にとどめたが、その際も前略・後略は特別には記さなかった。また、読みやすく書き改めたところもある。法令などの史料には、適宜、第何条にあたるかを示す数字をつけた。
- 3. 国名は、次のように表記する場合がある。(日本:日 中国:中 韓国:韓 アメリカ:米 ロシア:露 イギリス: 英 フランス:仏 ドイツ:独 オーストリア:墺 イタリア:伊 オランダ:蘭 ソヴィエト社会主義共和国連邦:ソ)

<i>詳しくみてみよう!</i> (2次元コード)					
画像	一遍上人絵伝(巻7) 87/洛中洛外図屛風 89/伯耆国東郷荘の下地中分図 98/南蛮屛風 149				
文字資料	武家諸法度(元和令) 155/武家諸法度(寛永令) 157/武家諸法度(天和令) 177/大日本帝国 憲法 252/二十一カ条の要求 269/日本国憲法 330/サンフランシスコ平和条約 337/日米相 互協力及び安全保障条約 342				
動面	貝塚 10/荘園図 72/鎌倉街道と切通 91/鉄砲伝来 139/富岡製糸場 240/米騒動 271/関東大震災 276/八幡製鉄所 284/戦時下の生活 314/安保闘争 342/石油危機 354 (動画はすべてNHK for Schoolのコンテンツです。)				
	* 本書掲載の2次元コードからインターネットを使用した学習ができます。2次元コードの使用にあたって使用料はかかりませんが、 通信料はかかります。インターネットを使用する際には、先生の許可を得たうえで使用してください。また、使用にあたっては 個人情報の扱いに十分注意してください。				

2次元コードから、より深い 理解に役立つ動画や、細部を 確認するための拡大画像、紙面 掲載部分以外の文字資料などを 見られるようにしています。

### € 近世



各時代・各分野を バランスよく 構成しています。

学習指導要領の中項目(4)は大項目Dの最後に入ります。

### D \*IV\* 近代・現代



# 改訂の ポイン

87

1. 〇〇の転換と歴史的環境

学習指導要領 中項目(1)

\*大項目Aの中項目(1)は「黎明期の日本列島と歴史的環境」

日本史探究では、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・現代」の各時代の最初(1・5・8・11章) に時代の転換を取り上げ、中学校の学習や、前の時代との比較などを通して考察し、「時代を通観する 問い」を表現することが求められています。

●井園整理会は醍醐天息の

902(麓喜2)年が最初(→p.69)

で、その後1045(寛徳2)年に

も新たに成立した荘園を停止

するなどしばしば出されたが、

整理令の実施は国司にゆだね

られていたので不衡底であっ

た。また、後三条天皇は荘園

整理令を出すとともに祈の大

きさを一定にした。これは管

旨枡と称され、枡の基準とし

て太閤検地(→p.143)まで用り

られる一方、荘園では様々な

枡が用いられた。

### 院政と武士の躍進

大陸で宋、朝鮮半島に高麗が建てられた頃、日本では地方で武士が成長し、 荘 園が各 他に生まれ、中央で摂関政治が停滞して院政が始まった。院政はどのように成立したの だろうか。またその後、武士が台頭してくるきっかけは何だろうか。

院政の始まり

日本列島の大きな変化

11世紀の後半、朝廷では政治の転換期を 迎えた。天皇家や摂関家・大寺社は、諸

国からの税収が不安定になる中、荘園の拡大をはかった。しかし、荘 園の増加により、支配する公領(国衙領)を圧迫された国司は、荘園 の不入の権利を取り消すなどの荘園整理をおこなったため、対立が

地方では豪族や開発領主として力をのばしてきた武士の成長が 著しく、貴族や大寺社と結びついて私領の拡大をはかった。なかで も東日本での反乱を機に、源氏の武士が奥州に勢力を広げた。九州 では、大陸との交通が盛んになり、日宋貿易の窓口である博多の周辺 には、大寺社や上級貴族が進出していった。

延久の荘園整理令と荘園公領制

関白の藤原頼通に皇位継承を抑 えられてきた後三条天皇は、

即位すると、ときの摂政・関白を外戚としないこともあって、新た

な政治を進めた。天皇は摂関政治の弊害 をみて成長してきたため、大江匡房らの 学識にすぐれた人材を登用し、荘園の増 加により公領が圧迫されているとして、 1069(従う元)年に延久の荘園整理会を

天皇は整理の審査を地方の国司にゆだ ねず、中央に記録所(記録荘園券契所)を

76 第5章 院政と武士の躍進

章末には、まとめの問いを

設けています。各時代の最初

の章のまとめの問いでは、「時

代を通観する問い」の表現を

うながします。

86

「原始・古代」「中世」「近世」「近代・ 現代|各時代の最初の章では、時 代の転換を意識した記述を入れて います。

厳島神社「平家納経」 平清盛は 安芸の厳島神社を平家一門の氏 鎌とした 法成け一門の繁単の ために決華経などの写経を泰納

「信告川縁起鈴巻」 12世紀の鈴 巻。命蓮という僧が鉢を飛ば て長者(地方豪族)の倉を信 貴山まで運んだという話などを 描く。動的な線描で庶民の生 活や風俗を描く。(荒倉の巻、部分 5ょうこぐんし し 朝 護落子会蔵、奈良県)



ており、 平氏の栄華と貴族

絵と詞書を織りまぜて時間の進行を表現する絵巻物は、この時代 には大和絵の手法が用いられて発展した。『源氏物語絵巻』は貴族の需 要に応じて描かれ、『伴大納言絵巻』は応天門の変に取材し、朝廷の年 中行事を描いた『年中行事絵巻』とともに、院政の舞台となった京都 の姿を描いている。また『信責山縁起絵巻』は聖の生き方や風景・人物 描いている。こうした絵巻物や『扇面古写経』の下絵からは、この時 10 代の地方社会や庶民の生活をうかがうことができる。

関1 陰政の登場は 曹族社会にどのような影響を与えただろうか。また その理中は何だろうか。

間2 将関政治と院政には、どのような類似点と相違点があると考えられるだろうか。

**問3 貴族政治の変容や武士の政治への関与などの観点から、中世の特徴について、古代とも比較して、問いを表** 

2 院政と平氏政権 85

### 2. 歴史資料と〇〇の展望

学習指導要領 中項目(2)

「歴史資料と原始・古代の展望」「歴史資料と中世の展望」「歴史資料と近世の展望」「歴史資料と近代・ 現代の展望」では、諸資料を活用し、各時代の最初の章(1・5・8・11章)で表現した「時代を通 観する問い」をふまえ、時代の特色について考察し、このあとの学習に向けて時代を展望し、仮説を 表現します。

資料

原始・古代の 展望②

### 木簡から古代国家を探る

古代には、文書主義を特徴とする律令制のもとで、紙の文書とともに、木の 札に墨書した木簡が、情報伝達の手段として多く用いられた。平城 宮跡や平 城京の長屋王邸宅跡をはじめ、地方でも大宰府(--p.39)・多賀城 (--p.45)ほかの役所 の遺跡などから、多数の木簡が出土している。木簡から古代の歴史をみてみよう。

木節には、文書のほか、地方から豆に運ばれ、 人たちへの給食がおこなわれた。 る貢進物に付けられた荷札や、漢字の練習書き に用いた習書などがある。紙の文書は捺印さ れて正式の伝達手段となる一方、文書木簡も、 毎日の食料などの請求・支給など、木簡の方が 便利な場合に使われた。人・物・情報の移動を そのままのかたちで伝える木簡からは、当時の 中央・地方の関係や役所の動きがわかり、あわ せて下級官人たちの日常業務や地方の実情を知 ることができる。

地方から都に進上された。調・庸(→p.41)など貢 進物の荷札木簡には、某国某郡某

郷のだれがどの税の品目をどれだ けの量、いつ貢進したかが、地方 で書かれている。税とともに平城 宮で収納されたのち、宮内の役所 で最後に消費される際に、荷から はずされて廃棄された経過をたど っている。

律令の税制では、米のほか、た とえば「調雑物」として鉄・鉱・ 塩や、鰒・堅魚・鳥賊などの魚 貝類、紫菜・海菜・海松・ 新甲贏・ 雑 鮨・近江鮒・煮 塩 年魚・煮堅魚などの多様な海水産 物が諸国から都に送られることに なっていた。これら地方の特産品 食材が荷札木簡とともに平城宮に 集められて、天皇・貴族や下級官

22 歴史資料と原始・古代の展望②

また、平城京の長屋王邸(→p.43)から出土した 長屋王家太節には、 貢進された食料の荷札太節 (①)や、京近くの所領から食料を進上した文書 木簡(②)、粕漬けの瓜などがみえる)などがある。

▶ 木簡と紙の文書は どのように使い分けられたの だろうか 紙・木の表材の特徴から 老さてみよう また 荷札木簡と文書木簡の違いについて 形能 にも注目して、考えてみよう。

諸国から平城宮に税として貢准された食料の 15

歴史 資料 近代・現代の

# 貿易の変遷からみる 日本の近代・現代

1859年の開港により本格的に貿易が始まった。国際価格と、国内産業の状態を 反映する国内価格との差によって輸出入品が決まり、輸出産業は成長した。輸 入紹過は金銀の流出をもたらして国を貧しくし、外国からの借り入れでこれをお ぎなうことは、国の独立を危うくすると考えられた。そこで、輸出産業の振興と、 輸入品の国産化をはかる経済政策がとられた 輸出入については 閉境を理す ためにその数量が記録され、経済の状況を示す統計として利用されてきた。こ れにより、それぞれの時期の産業の状況と経済政策の課題を考えてみよう。



幕末1865(慶応元)年の輸出は生糸が中心で、10 茶がこれに続く。輸入では織物が大半を占め る。欧米の産業革命の影響がはっきりとみら

1885(明治18)年になると、輸入の首位が綿 糸になる。これは、国内のどのような変化を 反映しているのだろうか。また機械とともに、 砂糖や石油の輸入が増えているのは何を意味 しているのだろうか。

石油3.7 手織物41 線織物42 (事
洋経済新報
計編「日本貿易精管」より作成)

1899(明治32)年には綿糸が輸出品に転じ、 その原料である綿花が輸入品の首位になって いる。これは、何を音味しているのだろうか。

輸入品 7億2943 - 組織物 大豆·豆粕 (東洋経済新報社編「日本貿易精覧」より作成)

1913(大正2)年、第一次世界大戦直前に は輸入品に米がみえる、グラフには表れない が、明治の半ばまで米は輸出されることもあ った。どうして輸出品から輸入品にかわった のだろうか。

時代を展望するため、歴史資料と して、遺物や文字資料、絵画、統計 などを取り上げました。また、資料 を読み取り、それに基づいて考察し、 仮説を表現するきっかけとなる ポイントを示しています。

234 歴史資料と近代・現代の展望②

各章に導入文を設け、

これから学ぶ内容の

概略とともに、その

章の学習上の視点と

なる問いかけを示し

ました。

### 3. 〇〇の国家・社会の展開と画期

学習指導要領 中項目(3)

\*大項目Dの中項目(3)は「近現代の地域・日本と世界の画期と構造」

歴史資料と○○の展望のあとの学習では、「時代を通観する問い」や仮説をふまえ、資料を活用して、 各時代の展開について考察し、諸事象の解釈や画期を表現します。また、その際に、解釈・説明・論 述を繰り返しおこない、思考力・判断力・表現力を育成することが求められています。

### 武家政権の成立

府は承久の乱やモンゴル襲来を経て全国政権に成長するとともに、幕府に集った武 土たちも守護や地頭として全国に展開していった。武士の勢力拡大は、鎌倉時代の政治 や社会にどのような影響をもたらしたのだろうか。

### 鎌倉幕府の成立

源平の争乱

平氏一門の繁栄は、後白河法皇や院 近臣との対立 を招き、1177(治承元)年には藤原成親や僧の俊寛

らが、京都郊外の鹿ヶ谷で平氏打倒をはかり、失敗する事件がおこっ

た(**鹿ヶ谷の陰謀**)。そこで 平 清盛は1179(治承3)年、10 武力を背景に後白河法皇を鳥羽殿に幽閉し、関白以下 多数の貴族を処罰し、官職を奪う強圧的手段で国家機 構のほとんどを手中におさめた。さらに翌年には高倉 天皇の中宮である娘徳子(建礼門院)の生んだ子を安 徳天皇として即位させ、外戚の地位も手に入れた。

ここに清盛の権力集中は頂点に達するかにみえたが、 かえって中央の貴族・大寺院や地方の武士団のあいだ で平氏の専制政治に対する不満が高まった。

この情勢をみた後白河法皇の皇子以仁王と、畿内に 基盤をもつ源氏の源 頼政は、平氏打倒の兵をあげ、20 挙兵を呼びかける以仁王の命令(令旨)が諸国の武士 に伝えられた。

これに応じて、闌城寺(三井寺)や興福寺などの僧 系が立ち上がり、つづいて伊豆に流されていた**源頼朝** や信濃の木曽谷にいた源義仲をはじめ、各地の武士団 25 が挙兵して、ついに内乱は全国的に広がり、5年にわ たって争乱が続いた(治承・寿永の乱)。

平氏は当初、都を福原(神戸市)に移した。福原は近

1179 11 平清盛、後白河法皇を幽閉 1180 2 安徳王阜即位 以仁王・頂頼政ら挙丘 助死 短原遷都(11日には京都に戻す) 源頼朝挙兵、石橋山で敗れる **頂盖仙举丘** < 頼朝鎌倉入り。 宮十川の戦い ※頼朝 侍所を設置 平重衡、南都を焼打ち 1181 閏2 清盛の死(64歳) 倶利伽羅 峠 (砺波道)の戦い 1183. 5 平氏の都落ち、義仲入京 :後白河法皇、頼朝の東国支配権を認める 1184. 1 源節頓・義経 義仲を討つ 摂津―の公の戦い

\*頼朝、公堂所・問注所を設置

長門壇の浦の戦い、平氏滅亡

\*頼朝、守護・地頭を設置

\*頼朝、征夷大将軍となる

讃岐屋島の戦い

1185 2

源平の争乱(月は陰暦による、\*印は幕府設立関係)

鹿ヶ谷の陰謀

本文の流れを重視し、 背景や因果関係が理 解しやすい記述を心 掛けました。

90 第6章 武家政権の成立

#### 2次元コード

より深い理解に役立 つ動画や、細部を確 認するための拡大画 像、紙面掲載部分以 外の文字資料などを 見られるようにして います。



なに良港大輪田泊があり、瀬戸内海支配 のための平氏の拠点であったが、この遷都 には大寺院や貴族たちが反対したため、平 氏は約半年間で都を京都に戻し、畿内を中

5 心とする支配を固めてこれらの動きに対 応した。しかし、清盛の突然の死や、畿 内・西国を中心とする飢饉などで平氏の 基盤は弱体化し、1183(寿永2)年に北陸で 源義仲に敗北すると、平氏は安徳天皇を奉

10 じて西国に都落ちした。その後、都に入っ た義仲と対立した後白河法皇の要請を受け、源頼朝は弟の源麓頼・義 っね 経らの軍を上洛させて義仲を滅ぼし、さらに平氏と戦い、摂津の一の 栞 『\*ぬき ゃしま 谷、讃岐の屋島の戦いを経て、ついに1185(文治元)年に長門の壇の浦 で平氏を滅亡させた。

5 この一連の争乱で大きな活躍をしたのは、地方の武士団であった。 彼らは国司や荘園領主に対抗して所領の支配権を強化・拡大しよう とつとめ、そのための新たな政治体制を求めていた。

反平氏の諸勢力のうち、東国の武士団の大半が武家の たうりょう 棟梁源氏の嫡流である頼朝のもとに結集したため、

- 20 頼朝はもっとも有力な勢力に成長した。頼朝は挙兵すると、相模の鎌 **倉を根拠地として広く武士たちと主従関係を結び御家人として組織し、** 東国の荘園・公領を支配して彼らの所領支配を保障していった。1183 (寿永2)年には、平氏の都落ちのあと、京都の後白河法皇と交渉して、 東海・東山両道の東国ۄの支配権の承認を得た(寿永二年十月宣旨)。
- 25 1185(文治元)年、平氏の滅亡後、頼朝は義経と対立するようになっ た。義経が法皇から頼朝追討令を与えられて挙兵するも失敗すると、 頼朝は軍勢を京都に送って法皇にせまり、義経追討を名目として諸国 に守護のを、荘園や公領には地頭を任命する権利や1段当たり5 弁 の兵粮米を徴収する権利、さらに諸国の国衙の実権を据る在庁官人
- 30 を支配する権利を獲得した。こうして東国を中心にした頼朝の支配権 は西国にもおよびはじめ、武家政権としての鎌倉幕府が確立した。



鎌倉周辺図 鎌倉は源頼義以 来、源氏とのゆかりが深い地 で、三方を小さな丘陵に囲ま カ 南は海にのぞむ亜宝の地 であった



○▶ 鎌倉墓府はどのような 過程を経て成立したのだろ

- ●幕府の支配権が強力におよ ぶ東国の範囲は、やがて遠 江・信濃以東の15カ国とさ
- ②守護は当初、惣追捕使や国 地頭などとも呼ばれたが、の ちに守護に統一された。

Q▶ 下司などの荘官と地頭 の、共通点と相違点は何だ ろうか。

1 鎌倉幕府の成立 91

本文を読む際の着眼点と なるような問い(Q)を設 け、考察をうながしてい ます(解答例は、教師用指導 書、整理ノートで扱ってい ます)。

91

### 3. 〇〇の国家・社会の展開と画期

#### 読みといてみよう

史資料をもとに、解釈したり、説明 したり、論述したりする学習をうな がします(解答例は、教師用指導書、 整理ノートで扱っています)。



遠隔地を結ぶ商業取引も盛んで、陸上交通の要地には宿が設けられ、 各地の\*養(港)には、商品の委託販売や中継・運送をおこなう間(間 丸)が活躍した。売買の手段としては、米などの現物にかわって貨幣 が多く用いられるようになり、 荘 関の一部では年首の銭納もおこな われたが、それにはもっぱら中国から輸入された宋銭が利用された。 さらに遠隔地間の取引には、金銭の輸送を手形で代用する為**替**が使わ れ、金融業者の借上も多く現れた。様々な人や物が集まる宿や湊は町 として発展し、有徳人と呼ばれる富裕な人々が成長していった。

また、荘園領主や地頭の圧迫・非法に対する農民の動きが活発とな 10 り、団結して訴訟をおこしたり、集団で逃亡したりする例も多くな った。年貢を農民が定額で請け負うこともおこなわれた。

生産や流通経済のめざましい発達と社会の大きな変 幕府の衰退 動の中で、幕府は多くの困難に直面していた。モン ゴル襲来は御家人たちに多大な犠牲を払わせたが、幕府は十分な恩 15

102 第6章 武家政権の成立

90

Q> 鎌倉時代には、なぜ貨

幣が多く用いられるように

なったのだろうか。また.

貨幣の普及は社会にどのよ

うな変化をもたらしたのだ

章末に、時系列や推移、諸事 象の比較、意味や意義、特色、 因果関係や画期などについて、 まとめの問いを設けました。

共同体、またそれらを基礎と 呼ぶこともある。

❷京都ではさらに複数の町組 が集まって、芒富・苄富と いう巨大な都市組織(物町) を形成していた。

●物材と町をあわせて材 町 する支配の仕組みを村町制と

教科書の判型を大きくし(A5判 →B5変型判)、写真·図版を大き く・見やすく掲載しました。



は場を表し、町を画する堀がつくられている。図は住吉祭の仮装

これらの都市の中には、富裕な商工業者たちが自治 女を運営し、平和で自由な都市をつくり上げるもの 易の根拠地として栄えた。**堺 や博多**、さらに摂津の \*\*\*\*\*\*\* たどが代表的であり、とくに堺は36人の会 の年行司と呼ばれる豪商の合議によって市政が 5 方の性格を備えていた。

うな古くから続く政治都市にも、富裕な商工業者で ある町衆を中心とした都市民の自治的団体である町が生まれた。

営業活動を守った

。さらに、町が集まって町組

という組織がつ

□ くられ、町や町組は町衆の中から選ばれた**月行事**の手によって自治 的に運営された。応仁の乱で焼かれた京都は、これらの町衆によって 復興され、祇園祭も町を母体とした町衆たちの祭りとして再興された。

#### 第7章のまとめ

問1 室町時代の惣村や町の自治のあり方と現代の自治のあり方には、どのような類似点と相違点があると考えら

間2 15~16世紀にかけて多発した争乱は、人々の生活や文化にどのような影響を与えたと考えられるだろうか

136 第7章 武家社会の成長

### 4. 現代の日本の課題の探究

学習指導要領 中項目(4)

日本史探究の科目のまとめとして、主題を設定して、現代の日本の課題を探究します。

### 現代日本の課題の探究――様々な災害と日本

これまで学んできた日本の歴史の中から、「社会や集団と個人」「世界の中の日本」 「伝統や文化の継承と創造」など、現代日本に関わる様々な課題を設定することが できる。自分が関心のある課題をみつけて取り組んでみよう。ここでは例として、 災害をテーマに考えてみたい。

### I 社会や集団と個人 「災害対応」についての考察

#### (1)問い・仮説を立ててみよう

- 日本列島で生きてきた人々にとって、暴風・ 豪雨・洪水・地震・津波・噴火などの災害は、 きわめて身近なものだった。人々は、みずから の生活をおびやかす災害にどのように向き合っ てきたのだろうか.
- 1707(宝永4)年、富士前が噴火した(宝永の 15 富士山噴火)。被災地域の大部分は小田原藩の 領地で、藩は緊急の教 恤米(被災者救済のた めの米)を支給するのが精一杯であり、抜本的 な対策を幕府にゆだねざるをえなかった。 1708(宝永5)年、幕府は武蔵・龍模・駿河3
- カ国のうち、被災の「著」しい村々について幕領 に編入することを決定した。つづいて、幕府は 資料1の触れを出した。
- これによれば、全国の幕領と大名・権本領 から石高100石につき金2両を徴収し、1万石 ※ 以上(大名)け立て麸を全を3日までにおさめ
- 1万石未満(旗本)は6月までにおさめることと した。また50石未満の場合は免除し、寺社領は 除外している。この触れにより、幕府は救済資 金として全国から約49万両を徴収したが、この 3 ような大名領まで対象とした租税形態は従来に
- はみられなかったものである。 宝永の富士山噴火がおこった時期は5代将軍 徳川綱吉の時代で、幕藩体制の安定期に当たる。
- 幕府が諸大名に対する強大な権力を発動できた 点にこの時期の社会の特色があり、小田原藩領

日本史探究のまとめでおこなう

現代の日本の課題の探究の例と

して、日本における災害の歴史

を扱い、災害という課題から、

歴史を考える視点を例示しました。

# (2) 仮説を検証するために 文化財に関する

法律や施策の背景を調べてみよう

#### ●文化財を守るための法整備

文化財を保護するための近代的な法整備は、 いつから始まったのだろうか。資料9は文化財 保護に関する法律の変遷をまとめたものである。

	文化財保護に関わる動き		
1871年	古器 旧 物保存方の布告		
1897年	古社寺保存法の公布		
1919年	史蹟名勝天然紀念物保存法の制定		
1929年	国宝保存法の制定		
1933年	重要美術品等ノ保存ニ関スル法律の制定		
1950年	文化財保護法の制定		

#### 資料 9:文化財保護に関する法律の変遷

- ▶それぞれの時期に文化財保護の動きが強まった背 景には何があったと考えられるだろうか。また、それ ぞれの法律の具体的な内容についても調べてみよう。
- 1950(昭和25)年に制定された文化財保護法は その後、何度も改正がおこなわれてきた。資料 10は、それぞれの改正の内容を簡潔にまとめた ものである。

	改正年	内容
	1954年	無形文化財・埋蔵文化財・民俗資料に関する保 護制度の充実
	1968年	文化庁の発足
-	1975年	伝統的建造物群保存地区制度の創設、文化財の
_		保存技術の保護制度の創設
	1996年	文化財登録制度の創設
	1999年	都道府県・指定都市等への権限委譲等
	2004年	文化的景観の保護制度の創設
	2018年	文化財保存・活用のための計画制度の創設
	200000000000000000000000000000000000000	- //- P. (P W.)

#### 資料10:文化財保護法の改正

▶資料をみて気づいたことや、考えたことを表現して みよう。また、2018(平成30)年の改正における文化財 の「活用」とは具体的にどういうことか、身近な事例を

370 現代日本の課題の探究

#### ② 文化財レスキュー事業

文化庁は、自然災害により被災した美術工芸 品を中心とする文化財等を保全し、廃棄・散逸 や盗難の被害から防ぐため、災害の規模・内容 に応じて「文化財レスキュー事業」(正式名称は 被災文化財等救援事業)を展開している。1995 (平成7)年の阪神・淡路大震災の時にはじめて 組織され、2011(平成23)年の東日本大震災にお いても展開された。

- 資料11は、東日本大震災におけるレスキュー 10 事業に携わった「ふくしま歴史資料保存ネット ワーク」のメンバーの声である。
- ▶この資料を読み、文化財を保護していくために何 が必要か、考えてみよう。また、ここで述べられて いること以外で、文化財を保護・継承していくため の課題として何があげられるか、考えてみよう。

### 資料11:「ふくしま歴史資料保存ネット

…現在の福島県内で歴史資料あるいは文化遺産が いったいどういう状況にあるのか、情報がなかな か集まってこない、出てこないというあたりも、 震災の頃からほとんど進歩していない気がするん ですね。だからこそ、いろいろな情報を持ち寄っ たり、歴史や文化に関心を持つ人たちが集まった りする「つながりの場」というのが、あらためて必 要だと感じているわけです。 (阿部浩一・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編 「ふくしま再生と歴史・文化遺産」より)

#### IV 学習の成果を共有しよう

探究した内容について、レポートにまとめた り、新聞を作成したりするなどして、発表して みよう。また、自分とは異なる表現・発信方法 20 でほかの課題に取り組んでいる人たちと意見交 換や討論をおこなって、歴史認識を深めていこ



519点 地図

63点 ● グラフ・図表 144点 (グラフ39+系図14+ 図63+表28)

●文字資料 ● 2 次元コード 69点

# 高校日本史

日探706 B5判(257mm×182mm) 302ページ 予価914円

東京大学名誉教授 学習院大学名誉教授 東京大学名誉教授 **東京大学教授** 

老川 慶喜 立教大学名誉教授 村 和明 東京大学准教授 山口 輝臣 東京大学教授 早乙女雅博 東京大学名誉教授 文彦 お茶の水女子大学准教授 坂上 康俊 九州大学名誉教授 吉田 伸之 東京大学名誉教授 英治 東京大学教授 渡邊 宏明 海城中学高等学校教諭 博己 東京大学名誉教授 會田 康範 学習院高等科教諭 典幸 東京大学教授 俊之 埼玉県立春日部高等学校教諭 晃伸 立教大学教授 多田万里子 埼玉県立羽生第一高等学校教諭 豊田 基裕 東京都立文京高等学校教諭 成征 東京大学教授 三枝 暁子 東京大学教授 株式会社 山川出版社 三谷 芳幸 筑波大学教授 (2025年3月現在)

#### message



五味文彦 (ごみふみひこ) 東京大学名誉教授

ここ数年、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、変 異種が次々に現れたことで、多くの人々はこれからの社会が どうなってゆくのか、不安をおぼえたことでしょう。目を向け ると、社会のいろいろな動きが見えてきています。地域社会 の衰退や格差社会の進行、身近な家庭・学校、社会のあり 方などです。これらに立ち向かうためには、過去の歴史から 学ぶことが、たいへん重要です。

先人が苦難を乗り越え、築いてきた歴史を知ることは、こ れから生きてゆく上で大きな力になるはずです。社会のあら ゆる分野で活動してきた先人の努力を、しっかり見つめ、考 えて、生きてゆく力を育てましょう。

この教科書では、基本となる事実を示し、その事実の背景 となる時代の動きを記すようにつとめました。わかりやすい 文章で、正確に事実を伝える努力をしてきました。これまで の実績に基づきつつも、それを生かして、よりよい教科書を めざし編集しました。きっと皆さまの期待にこたえるでしょう。



佐藤信 (さとうまこと) 東京大学名誉教授

今日、災害・疫病や高齢化・過疎化などの厳しい現実が 課題となるなかで、持続可能で平和かつ多様な社会をめざ すことが求められています。見通しのきかない状況下で、世 界・日本や私たちが住む地域社会のあり方を展望する際に、 先人が築いてきた歴史・文化・伝統を見すえる「知」から学 ぶことが多くあるといえます。

この教科書では、多様な歴史資料にもとづきながら、歴史 の文脈をたどるとともに歴史的思考を深められるようにつと めました。

どうぞ、どの時代からでも歴史に対して疑問をもち、自ら 歴史資料を確かめ、調べ、考えて、歴史をたずねてみてく

この「日本史探究」で学んだことが、これから皆さんが生 きていく上で、多様で豊かな経験にあふれた世界・日本や地 域の歴史・文化をふり返り、あたらしい社会の創成をめざす 際の一助となれば、うれしく思います。

### 豊富な材料で 楽しく学べる

### 生徒が読んでわかる教科書

# 要点をおさえた、わかりやすい教科書

- 『詳説日本史』の章立てに準拠し、内容と構成を簡潔に工夫しました。
- ●生徒が自ら読んで理解できるよう、歴史の基本的な流れを、わかりやすい文章で叙述しました。 また、ふりがなを丁寧にふり、注も少なくし、本文の読みやすさを第一に考えました。

# 興味・関心を高める工夫と、豊富な史資料

- 史料の現代語訳や拡大画像などを参照できる69点の「2次元コード」。
- 史資料をもとに解釈・説明・論述するための発展的な「読みとき」。
- 生徒の興味をひきだすエピソードを紹介する75点の「Topic」。
- ●文化財や列島の多様性など、様々な観点を提供する8点の「特集ページ」。
- 視覚的なイメージを持てる約720点の図版を掲載。
- 教科書の判型を大きく(A5判→B5判)し、図版を大きくレイアウト。

#### 関連教材

#### 教師用指導書「授業実践編」

**→**p.130

### デジタル

教師用指導書「授業実践編」付属データ集

**→**p.131

#### 教師用指導書「研究編」

**→**p.131

高校日本史ノート B5判 定価825円(税込)

山川 詳説日本史図録 第10版 AB判 定価990円(税込) 高校日本史 基本用語問題集

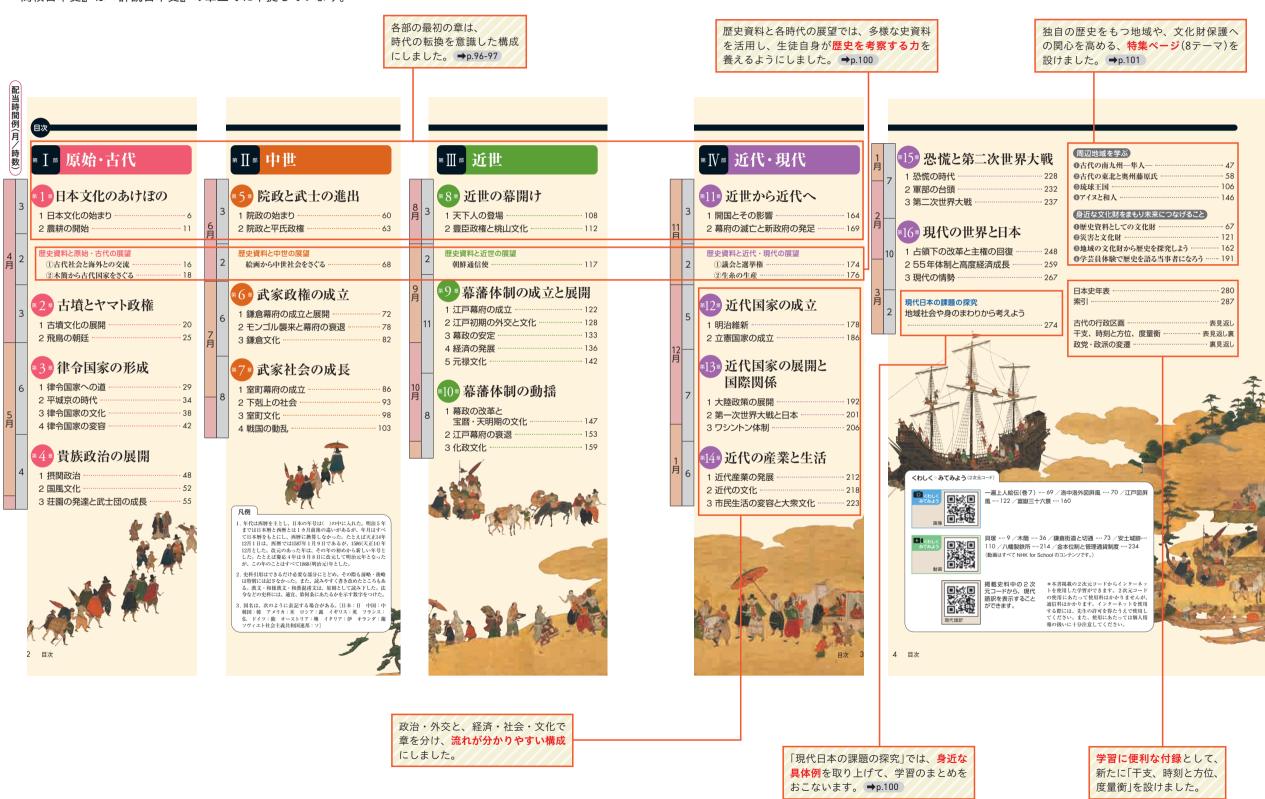
ツインズ・マスター

B5判 定価990円(税込)

指導者用デジタル教科書(教材) →p.135

### 目次と配当時間例

『高校日本史』は『詳説日本史』の章立てに準拠しています。



世界と関連した年表

部扉では、世界史の動きと関連付

けながら、時代の大きな流れを

捉えられる年表を掲載しました。

### 1. 要点をおさえた、わかりやすい教科書

歴史の流れを理解しやすくするため、わかりやすい文章を心がけ、ふりがなも丁寧にふりました。 また、日本史探究で重視される、時代の転換を意識した記述をしています。

各章の導入には、「章全体にわたる問い」を設け、 時代の転換を探究するための方向性を示しました。

## 近世の幕開け

世界やアジアの交易が活発になるなか、16世紀末には日本全国を統一しようと する天下人が出現した。政治や社会のあり方も変わり、近世という新しい時代 が始まったとされている。新しい時代はどのように幕を開けたのだろうか。

### 天下人の登場

16世紀なかば、ヨーロッパ人は海上航路を開いて 拠点をつくり、アジアの交易ルートに参入して、

日本に鉄砲やキリスト教を伝え、増産された日本の銀を求めた。国 祭的な交易が活発となり、外来の技術・思想にどう対応するかが、 □ 戦国大名。 戦国大名。らに問われる時代となった。以後、有力な大名が領国の 統合を急速に進め、16世紀末には豊臣秀吉が全国を1つの政権のも とに統合した。秀吉は新しい支配の仕組みを築き上げると同時に、 中国への侵攻を掲げて朝鮮侵略を強行し、朝を中心とする東アジ アの国際秩序を大きくゆるがすことになる。

1530年代以降、石見銀山などで銀が大幅に 増産された。中国の明は銀で税をおさめさ

せるようになっていたので、**日本産の銀**が大量に中国に流れこんだ。 そのかわりに**中国産の生糸**などが日本にもたらされて、貿易が活発 こなった。ただし明は民間の貿易を認めていなかったので、取締り 20 こ対抗して武装した密貿易商人が活躍した●。



① 116世紀の世界と日本人の **往来** オスマン帝国領の広が りから、ヨーロッパ諸国は西 へ目をむけた。天正遣欧使 節(▶p.116)は喜望峰をまわり、 支倉常長はメキシコから大西 洋を横断して、ヨーロッパを めざした。

一方、ヨーロッパの南西の端にあるポルトガ ルは、15世紀になるとアフリカへの探検をすす

め、東南アジアの香辛料を求めて、15世紀末にはインドへの 航路を開いた。スペインもアメリカ大陸から太平洋を横断し 5 てフィリピンへ進出した。ローマ教皇がひきいるカトリック

教会も海外への布教をあと押しした。こうして、ヨーロッパ を中心に世界の諸地域が広く交流する**大航海時代**が始まった。 ポルトガルはインドや東南アジアに拠点を築き、1540年代 になると九州各地にたどりつくようになった。そして1543(天

文12)年<sub>2</sub>、中国商人の船に乗ったポルトガル人が九州南方の 種子島に来航し、**鉄砲**図をもたらした。鉄砲は<sup>\*</sup>堺などで製造 が始まり、戦国大名のあいだに急速に広まった。

1549(天文18)年、カトリック教会の改革派 キリスト教と南蛮貿易 であるイエズス会の宣教師フラン

15 = ザビエルが、インドや東南アジアをへて、中国人商人の船 島に来航し、**キリスト教**を伝えた。ザビエルのあとも宣教 日して、多くの信者(キリシタン)を獲得した。とくに九州の なかには貿易の利益を得るためにもキリスト教に入信する シタン大名)があらわれ、家臣や領民にもキリスト教が広ま

中国南部のマカオに進出していたポルトガル商人も中国 の貿易に乗り出し、やがて長崎へ来港し、中国産生糸と日本 どの売買を始めた。当時、彼らを南蛮人

◆とよんだので、こ を南蛮貿易という。

こうしてアジアの経済交流が活発になり、極東にある日

図キリスト教の伝播 ザビエル
は、鹿児島に来航したのち、上京
したが、将軍との会見を果たす → ザビエルを設施
・ イエスス会の教育機関
・ イエスス会の教育機関 とはできず、山口に滞在後、日本 氏名 おもなキリシタン大名



ザビエル(神戸市立博物館蔵

本文を補足する「注」は、必要な 部分を簡潔に記しました。

> 各章の最後に、学習のまとめに 最適な「章のまとめの問い」を 配置しました。

②種子島銃(長さ99.8cm。 無児島県、種子島時邦蔵)

### 鉄砲の伝来と普及

鉄砲の伝来や生産、普及について は不明な点が多い。当初、贈答品 や外交の道具として使われた鉄砲 だが、新兵器として認められるや いなや、戦国大名はその確保につ とめた。 刀 鍛冶の高い技術が生 かされ、伝来から半世紀のうちに 全国に普及し、戦闘や築城の方法 にも影響をおよぼした。ただし 当時の鉄砲は射程距離も短く、効 果を過大に評価することは早計で

「原始・古代」「中世」「近世」 「近代・現代」それぞれ最初 の章では、生徒が時代の転 換を理解し、「時代を通観 する問い」を立てるための 指針となるよう、まとめの 問いを工夫しました。

②前年の1542(天文11)年とする



□南寮展園 南蛮人がカビタン(鉛長)を中心に南蛮寺に おかう場面。寺のなかには南蛮人と日本人の姿もみえる。(部分、南蛮文化総蔵)

時代に翻弄(ほんろう)された天正遣欧使節

4人の少年使節はローマ教皇に歓迎 され、ヨーロッパの人びとに日本の存 在を広く知らせた。活版印刷機などを たずさえて1590(天正18)年に帰国する と、禁 教 が強まっており、彼らを追 酷な運命が待ち受けていた。伊東マ ンショは布 教 活動をするが拠点の小 倉を追われ長崎で病死、千々石ミゲノ は変数し、消息不明 原マルチノに 国外追放、中浦ジュリアンは長崎で 砌 教 した。

⋒ポルトガル語やスペイン語 ラ・カボチャ・カルタなどがある 宣教師らによって天文・地理や医 学、パン・カステラ・たばこなど**⊙**、 ヨーロッパの交物がもたらされた (南蛮文化)四。

日本の古典の出版

字で記述されている。

表紙のローマ字が何と

うな意味か、読みとい てみよう。

キリスト数の初等数音学校(ヤミナ ■伊東マンショの肖像(イタ リオ)や高等教育学校(コレジオ)を

は、九州のキリシタン大名にゆかりのある少年たちをヨーロッパの 10

イエズス会のヴァリニャーノは、

何か所か設け、1582(美宝10)年に

ローマ教皇のもとへ派遣した(**天正遣欧使節**) 図。また金属製の活字 による活筋印刷術も導入した。以後、キリスト教の書物が翻訳され たり、日本の古典や日本語辞書が出版されたりした(キリシタン

●豊臣政権が築き上げた支配の仕組みは、どのような点で江戸時代に引きつがれ てゆくのだろうか。武士・百姓・町人それぞれについて考えてみよう。 ● 国際交流の進展や全国統一など、どのように時代が転換したのかに着目し、近 世の特徴について、中世や近代とも比較して問いを表現してみよう。

116 第8章 近世の墓間け

各時代に関連の深い世界遺産の写真 を取り上げ、解説を付しました。

99

### 2. 興味・関心を高める工夫と、豊富な史資料

2次元コードから、現代語訳・動画・拡大画像が参照できます。 また、視覚的なイメージをもてる図版は、約720点掲載しました。

#### 現代語訳

史料に付した**2次元コードから、現代語訳を参照**することができます。 史料に苦手意識を持つ生徒の理解を助け、自発的な学習を促します。

#### 大仏浩立の辺

(聖武天皇は)詔(みことのり)の中でつぎのよう に述べられた。「……天平15年10月15日をもって、 人びとを救済しようという仏弟子としての願いを おこして、盧舎那仏(るしゃなぶつ)の金銅像1体 をつくることにした。……天下の富をもつ者は私 であり、天下の勢いをもつ者も私である。この富 と勢いをもって仏の尊像をつくる。……」 (『続日本紀』)

「長屋親王」の文字がみえる木簡 平城京左京の長屋王邸の清跡から出



木簡は細長い木札に墨て 文字を記したもので、古代 には 紙と使いわけて ヤ 書や調庸の荷札など、さま ざまな用途でもちいられ た。その時に書かれた同時 代史料であり、木簡の内容 から新しい史実が確かめら 1ることも多い。平 城 京が跡の長屋王家木簡目が らは、王家の生活や家政運 営、家内で働く人びとの実 能かどが、明らかにかった。

▲大上天息は 譲位1. た天息の 代には、譲位後の太上天皇も天皇 在位時と同じような権力や権威

36 第3章 律令国家の形成

娘の光明子を聖武天皇の皇后にたてることに成功した。これは皇 族出身ではない皇后の最初の例となった。

ところが、藤原4兄弟はあいついで疫病で倒れ、その後は、皇 族出身の 福 諸兄が政権をにぎり、唐から帰国した**玄昉**や吉備真 **備**が活躍した。これに反発した藤原広嗣は、九州で乱をおこしたが 5

疫病の流行や政情不安のなかで、聖武天皇は恭仁・難波・紫香菜 と都を移し、この間の741(天平13)年に国分寺建立の"詔』、 743(天平15)年には**大仏造立の詔**[[を出し、仏教の力により国家が まもられ安定するよう願った。東大寺大仏はこうした背景のもとで 10 造立され、752(天平勝宝4)年、孝謙天皇のときに、大仏開眼の 儀式がおこなわれた。

孝謙天皇の時代には、藤原仲麻呂が光明皇太后と結んで勢力をの ばし、淳仁天皇を即位させると、恵美抑勝の名をたまわり、権力 を独占した。しかし、孝謙太上天皇❸(のちの称徳天皇)が僧**道鏡** 15 を寵愛して淳仁天皇と対立すると、仲麻呂はそれに対抗して挙兵 したが敗死した(恵美押勝の乱)。道鏡は法王の称号をうけて権勢を ふるったが、称徳天皇が亡くなると、藤原氏などの貴族は道鏡を追 放し、あらたに天智天皇の孫の光仁天皇をたて、混乱した政治の再 建につとめることになった。

自然災害や天候不順に影響されて飢饉もおこり やすく、律令にもとづく支配は、社会の動揺 を招いた。農民のなかには、重い負担をのがれるために浮浪や逃亡

#### 光仁・桓武天皇と皇統の

このとき、平氏は都を大輪田

泊 に近い摂津の福原(現在の神 戸市)に移したが、貴族や寺院が

この遷都に反対したため 半年

で都を京都にもどす結果となっ

72 第6章 武家政権の成立

天智天皇の孫白壁王は称徳天皇の死後、光仁天皇 立された。皇后には井上内親王(聖武天皇皇女)、 はその子他戸親王が立ったが、のち廃された。藤原 もあり、高野新笠のうんだ山部親王(桓武天皇)が なり、 称徳天皇までの天武系の皇統から天智系へ

する者も多くなった。また、人口が増加すると口 足1. それに対応して安定した税を確保するため 府は土地の制度を見直すことになった。

政府は耕地をふやそうとして、722(養老6)年 5 のもとで百方町歩の開墾計画をたてたが成果は 翌723(養老7)年には、**三世一身法**0を出した。 新しく灌漑施設をつくって田を開墾した者には 人・子・孫) にわたる私有を認め、すでにある灌注 利用した開墾地は本人に限り私有を認めるという

10 限つきで土地の私有を認めて開墾を奨励したので さらに743(天平15)年に**墾田永年私財法**mを出し よって開墾できる面積を定めて、開墾した土地の

るにいたった。この法は、未開地を開墾した墾田にまで政府の支配 がおよぶようにする積極策であったが、荘園という大土地所有が

広がる原因ともなった●。墾田永年私財法が出ると、力のある中央 貴族や寺院などは、きそって山野の開墾に乗り出した。これを**初期** 荘園とよぶ。初期荘園はのちの荘園とは異なり、律令国家の力を背 景とし、国司・都司の地方統治のしくみを利用してつくられたもの で、郡司の力が弱まると衰えていった。

たてた別宅や倉庫などと、まわり の墾田とをあわせたものをいう。

### 武家政権の成立

12世紀末の争乱のなか、 源 頼朝は武士の力を集めて、最初の本格的な武家政権である 鎌倉幕府を打ちたてた。幕府は全国的な政権に成長していくが、武家政権の成立・成長に よって、政治や社会における武士の地位や立場はどのように変化したのだろうか。

### 鎌倉幕府の成立と展開

1180(治家 4)年、後首河装篁の皇子以仁堂と畿芮 に基盤をもつ源氏■の源賴鼓は平氏打倒の兵をあげ、

**挙兵をよびかける以仁王の命令が諸国の武士に伝えられた。この挙** 兵は失敗に終わったが、これをきっかけに、伊豆の**源頼朝**®、木曽 10 の**源義仲**ら各地の武士団が蜂起し●、5年におよぶ源平の争乱**図**が

平氏は、平 清盛の死に続いて西国一帯に広がった大飢饉で打撃 をうけ、1183(寿永2)年、義仲の軍に敗北して西国へ逃れた。後白 河法皇とむすんだ源頼朝は、こののち法皇から東海道・東山道の東 15 国支配権を手に入れると、弟の義経らを都へむかわせて義仲を討っ た。ついで義経らは平氏と戦い、摂津の一の谷、讃岐の屋島の合戦 をへて、1185(文治元)年、長門の**壇の浦**で平氏をほろぼした。

平氏の滅亡後、後白河法皇は義経に頼朝追討の命令をくだしたが 失敗した。この機会をとらえて頼朝は法皇にせまって、逆に義経追 2



係図 1183(寿永2)年、 源義仲は北陸から畿内へ 進出し、源頼朝は東海道 などをおさえ、平氏は前 海・西海地方を中心に支 配下においた。争乱の動 きのなかで、3者がたが いに対立する形へとすす

動画・拡大画像

本文の内容に関連する動画や、

細部を確認するための拡大画像

などを参照できる二次元コード

で、生徒の興味・関心を高めます。

読 武家の都、鎌倉 鎌倉と平安京(\*p.42 81)とを比べ、共通点と違いを説明してみよう。 型建長寺 三 新 堂 ▲天台山 **独岡八幡宮** ₩親寺 大懸ガ谷 【空からみた鎌倉 額 岡八幡宮から海にのびる道(若宮 (1386年1998) をおして あてるよう 鎌倉街道と 切通 び鎌倉要図 鎌倉は源頼義以来、源氏とゆかりが深い地で、三方を

史資料をもとに、解釈したり、説明したり、

論述したりする力をつけられるよう、発展的 な問いとして「読みとき」を設けました。

(解答例は、『教師用指導書「授業実践編」』・準拠

経をかくまっていた奥州藤原氏を ほろぼそうと、朝廷に追討の命令 をくだすよう要求した。しかし、法

皇がこれに応じなかったため、1189 (文治5)年、頼朝は朝廷の命令を待 国伝源頼朝像 貴族の正装であ たずに、みずから大軍をひきいて奥 る東帯姿の人物像。源頼朝像と伝え 州藤原氏をほろぼした。ここに頼朝 は全国を平定し、後白河法皇没後の

10 1192(建久3)年に、征夷大将軍に任じられた。

討の命令を得た。さらに頼朝は、義

読みとき

ノートで扱っています)

源頼朝は、東国に武家政権を打ちたてるため相模の 鎌倉間に本拠地をかまえ、平氏と戦いながら、 \*|| 情 所・公文所(のち故所と改称)・問注所など、支配のしくみ。 をととのえていった●。1185(文治元)年に平氏が滅亡した後には、

逃亡中の義経をさがし出すことを口実に、朝廷から諸国に守護・地 頭を任命する権限を得た。この守護・地頭は、幕府が地方支配をす すめるうえで大きな役割を果たした。

守護は国ごとにおかれたが、その職務は京都大番役●を御家人に つとめさせること(大番催促)と譲抜人・穀害人の逮捕で、これを大



京都守護〈京都〉 び鎌倉幕府初期の機構

鎌倉幕府の勢力はどのようにして全

間注所 訴訟・辨制

守護(諸国)

地頭・ (荘園) 御家人 (公領)

家人の和田義盛が任じられたが、 公文所の長官は大江広元、間注 iの長官は三 義 康信で、ともに 貴族出身であった。

て天息や院の御所の警備を担

1 鎌倉幕府の成立と展開 73

#### Q(問い)

本文を読む際の着眼点となる 「Q(問い)」を設けました。 学習の要点を捉えやすくする とともに、考察を促します。 (解答例は、『教師用指導書「授業 実践編」』で扱っています)

生徒の興味をひきだすため、本文では取り上げなかった人物や事件などのエピソードを紹介 する75点の「Topic」を設けました。

(「正倉院宝物の国際性」「お茶の効用を認めた源実朝」「漂流民の国際交流」「ペリーのプレゼント」など)

#### **Topic**

### 様々な史資料で、時代の特色を考察

「歴史資料と原始・古代の展望」「歴史資料と中世の展望」「歴史資料と近世の展望」「歴史資料と近代・現代の展望」では、生徒が様々な史資料から情報を読み取り、時代の特色について考察することで、その後の学習に見通しをもった授業を展開できます。



### 現代日本の課題の探究

日本史探究のまとめでおこなう「現代日本の課題の探究」の例として、生徒にとって**身近な例を主題に取り上げ**、「伝統や文化の継承と創造」などの課題を扱います。



### 様々な観点を提供する特集ページ

生徒の興味や関心を引きだす特集ページを設け、主体的に学習に取り組めるよう工夫しています。

地域を歩き、興味深い資料をみつけたら、その特徴などを記録する資料調 「身近な文化財をまもり未来につなげること」 書を作成しよう。その際、博物館に行って資料調査の方法を学芸員に相談し 史芸 では、文化財について、様々な観点から、 私たちが博物館や美術館を訪れるのは、展覧会などを見学する時が多いだ 文化財保護への理解を深めます。 ろう。しかし、博物館の活動には、日頃から資料の収集や保管、調査研究な どがあり、その活動をふまえたうえに展覧会がある。こうした活動を担う学 芸員は、文化財となる資料を取り扱う専門家である。 博物館に収蔵されるさまざまかものが博物館資料とかるためには ものに 対して学術的な調査研究をおこない、価値を見極めることが必要である。学 10 芝昌が作成する姿料理書に記入する佰日は 対象とかる姿料によって異かる が、すべての項目が簡単に記入できるとは限らない。調書にはわかる範囲で 資料タや計測1.た寸法や重量 素材や製作者 製作年代などを記入1. さら に写真を撮影し、図をつくって、特徴的な事項を記入する。 こうしてひと通り資料の概要を調査し資料調書の作成がすんだら、さらに 15 その資料の歴史的・社会的位置などを詳細に調査することになる。その際、 わからないことを少しでも明らかにしていく作業こそが、歴史研究や学芸員 う の仕事なのである。それを体験することは、私たち自身が他人まかせでな く、歴史の語り手になることでもあ る。調杏にあたっては 論文や糸老図 記入日(調査日) 20 書、インターネットなどにふれる必要 記入者名 があるので、図書館やメディアの利用 方法もよく学んでおこう。 これまで歴史を学んできた経験をふ まえ、私たちはどのように歴史資料と ヤマト政権の支配がおよばない東北地方の人びとは、中央の政権から 25 おきあうことができるだろうか。 「蝦夷」とよばれ、異民族のようにあつかわれることもあった。 歴史を学ぶことは過去と対話するこ 7世紀なかば以降、中央政府はたびたび東北地方に軍を送り、根拠地とし とだといわれるが、誰も過去をふたた て城柵を設け、支配を浸透させていった。城柵は、政庁を中心に外郭のな び体験することはできない。しかし、 かに役所群・倉庫群をおくもので、8世紀には、陸奥国の国府としてつくら 5 私たちのまわりには、過去の事物が資 れた多賀城のもとで、各地域の行政の拠点となった。政府は帰順する蝦夷 30 料や記憶として残っている場合があ を「停囚」とよんで優遇し、その一部を諸国に移して組織する一方、反抗す る。こうした資料や記憶と主体的にむ る蝦夷は武力でおさえつけたので、しばしば戦いがおこった。桓武天皇の時 きあい、人類共有の財産である文化財 代には、北上川中流域の族長阿弖流為が政府軍を大敗させる事件がおこった を守り、次世代に伝えていくことが、 が、坂上田村麻呂の活躍もあり、中央政府による東北地方の支配はしだい 10 歴史を語る当事者になることにもつな 35 がるだろう。 11世紀末、東北地方に独自の支配権をもって勢力をのばしたのが藤原清 ※であった。後三年合戦後、陸奥・山羽の「俘囚の長」の地位を継承した清 衡は、金や馬などの奥州の特産品や北方との交易によってえた経済力を背 景に、朝廷や摂関家と良好な関係を結び、その地位を認めさせた。 清衡は白河関から津軽外ヶ浜までを支配下におき、その中間にあたる平 泉に居館をかまえ、社大な中尊寺をたてた。平泉には仏教美術や建築など の都の文化がもたらされ、中国産のすぐれた陶磁器や経典、東海地方産の できものなども集まってきた。中尊寺金色堂内陣の螺鈿の装飾には、南島 産の夜光貝がふんだんに使われている。 藤原清衡によって確立された奥州藤原氏の政治権力は、清衡の子基衡、孫 の秀衡と3代100年にわたって継承されたが、12世紀末、4代目泰衡のとき、 源頼朝に攻めほろぼされた。 周辺地域 「周辺地域を学ぶ」では、「古代の南九州一 **0** =

「周辺地域を学ぶ」では、「古代の南九州一 隼人一」「古代の東北と奥州藤原氏」「琉球 王国」「アイヌと和人」の特色ある4地域を 取り上げ、<mark>列島の多様性</mark>に目を向けます。

### 教師用指導書 授業実践編

授業のねらいや学習の目標など、指導の指針となる情報が盛り込まれています。

#### 詳説日本史

#### 教師用指導書 授業実践編 付属データ集DVD-ROM付

仕様:B5判・2色刷・388ページ

定価: 22,000円(税込)

内容: ①視点・留意点 ②学習の目標 ③解説・史料・図版 ④問いの解答例 ⑤発問例・解答例 ⑥板書例

⑦教科書画像 など

#### 高校日本史

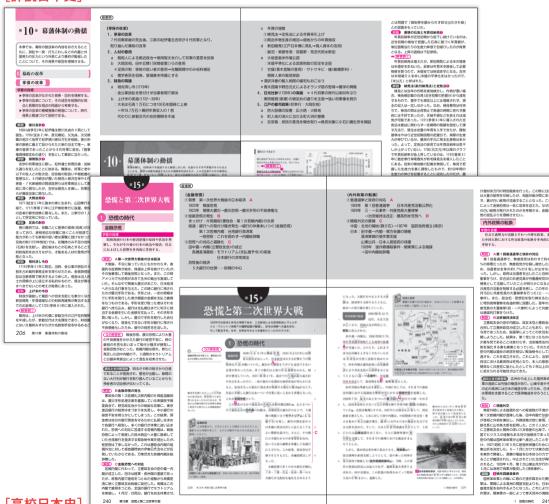
#### 教師用指導書 授業実践編 付属データ集DVD-ROM付

仕様:B5判・2色刷・292ページ

定価: 22.000円(税込)

内容: ①学習の目標 ②解説・史料・図版 ③問いの解答例 ④板書例 ⑤教科書画像 ⑥ねらい など

#### 「詳説日本史]



### 教師用指導書 授業実践編 付属データ集

授業準備や作問などに便利なデジタルコンテンツが豊富に収録されています。指導書とともにDVDで 納品しますが、クラウドからの配信もご用意しています。

#### 「付属データ集DVD-ROM 収録コンテンツ一覧]

	①教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	②教科書本文・注・史料テキスト	Word	本文・注・史料のテキストデータ
教科書	③教科書掲載地図・図表	JPEG	カラー・モノクロ2種の画像データ
データ	④教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	問いと解答例の一覧
	⑤指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	⑥年間指導計画・評価規準例	Excel	カリキュラムにあわせて加工が可能
	⑦授業用スライド	PowerPoint	教科書の章ごとに構成 問いの解答例も収録
	⑧授業用スライド対応 ワークシート	Word	スライドに対応したワークシート
教科書 準拠教材	⑨準拠テスト例	Word	小問ごとに観点別評価を明記 テストに対応したルーブリック(評価規準表) 例付き
	⑩準拠ノート	PDF Word	『詳説日本史授業用整理ノート』の紙面データ
	⑪白地図集	JPEG	プリント用・黒板用2種の画像データ

#### 日本史探究共通

### 教師用指導書 研究編

B5判・1色刷・480ページ 定価:5,500円(税込)

山川出版社の日本史探究教科書で共通してご使用いただけます。教科書の構成に沿って、教科書に記 述されている歴史事象やその背景、史料・図版の見方などについて、詳しく解説します。



### 第9章 幕藩体制の成立と展開

#### 1 幕藩体制の成立

時に尾張の織田信秀の人質に、その3年後には駿河今川氏の び誓紙を交換し合い、秀吉に対する忠誠を誓ってきた。その 人質となった。ところが1560(永禄3)年に今川義元が植狭間 基本となるものは、1595(文禄4)年に明示された五大老連署 の戦いで織田信長に敗れると、家康は人質の身を解放された。 による条目で、これを「御掟」及び「御掟追加」という。これは そして1562(永禄5)年1月、清洲で織田氏と同盟を結び、 家康以下の年寄衆が豊臣政権における基本方針を示したもの 1564(永禄7)年3月まで続いた三河国内における一向一揆勢で、危機管理を想定してその対処を定めたものとして注目さ 力を鎮圧した末、国内平定に成功した。その後、家康は1568 れる。 (永禄11)年に武田信玄と今川氏の所領を折半することを盟約 だが結果的には、これによる合議体制は長続きしなかった。 し、遠江を手に入れた。

される。これは、家康がその祖先を源義家の末裔で、上野国 ためである。この政治的矛盾とは、豊臣家内部での秀吉の跡 新田郡徳河郷に住み新田義貞に臣従していた人物とすること 目争いや豊臣家臣団内部の対立に加え、太閤検地などによる によって、自らの系譜を源氏に連ねようとするものであった。 中央集権的な政策に対する分権主義的な領地支配を志向する もちろん、源氏の系譜とすることで征夷大将軍就任への正統 有力諸大名と秀吉の吏僚派奉行との対立や政権内部での主導

**関ヶ原の難いの意義** 1598(慶長3)年8月18日、豊臣秀吉 は63歳でその生涯を閉じた。これにより豊臣政権五大老の筆 頭であった徳川家康は、秀吉の遺命に従い、同じ五大老の1 **徳川家康** 徳川家康は、1542(天文11)年、三河国岡崎城主 人前田利家らと協力して朝鮮在陣中の諸将の召還などの政務 松平広忠の長男として生まれた。母は刈谷城主だった水野忠 にあたった。こうして秀吉の権力は、秀吉が晩年に命じたと 政の娘長た。幼名は竹千代といい、その後、元信・元康・家 される五大老・五奉行による合議政治によって存続が図られ ることになった。これを、豊臣体制と称する場合もある。

戦国期の松平氏の勢力は脆弱であったため、家康は6歳の そもそも豊臣氏の五大老・五奉行は、秀吉の生前数度に及

秀吉の死前後から噴出していた豊臣政権内部における政治的 ところで、家康が松平姉を徳川姓に改めたのはこの頃だと 諸矛盾が、五大老・五奉行による合議制の機能を麻痺させた

[高校日本史]

改訂の

歴 合

総合

の歴史

究

指導書関連

ത 他 の 教 材